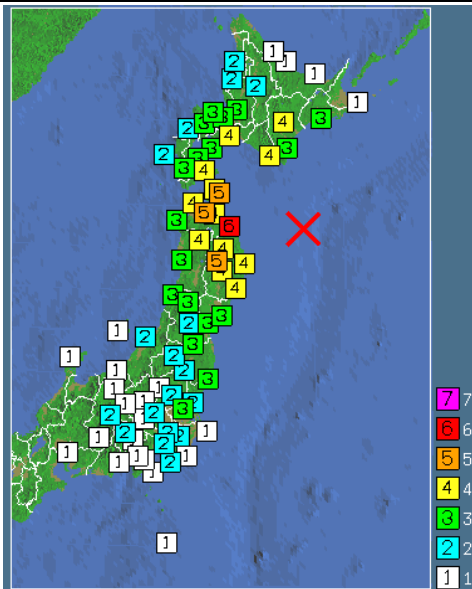
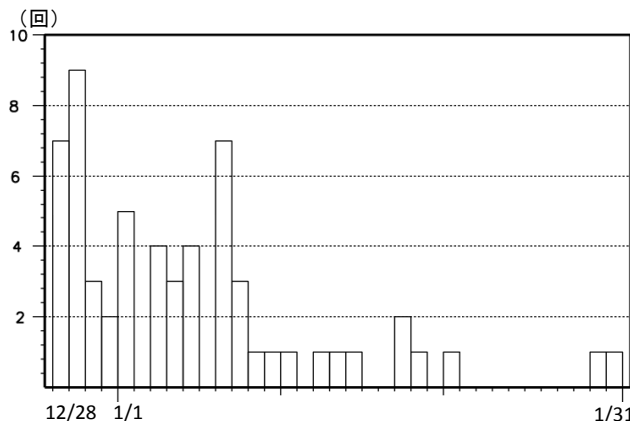


「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」による災害

発生日時	1994年(平成6年)12月28日 21時19分	資料  震度分布図 ×:震源
震央地名 地域(名称)	三陸沖 (北緯40° 25.8'、東経143° 44.7')	
震源の深さ	0km	
地震の規模 (マグニチュード:M)	7.6	
県内の震度	震度4: 大館市 震度3: 秋田市	
災害発生市町村	鹿角市、大館市	
地震概要	12月28日21時19分、三陸沖のごく浅いところでM7.6の地震が発生し、青森県の八戸市で震度6、青森市、むつ市、岩手県盛岡市で震度5を観測するなど北海道から中部地方にかけての広い範囲で震度6～1を観測した。秋田県では、大館市で震度4、秋田市で震度3を観測した。この地震により、北海道から東北地方の太平洋側で津波が観測され、最大の高さは岩手県宮古の55cmであった。 余震活動は活発で、1995年1月7日07時37分にM7.2の最大余震が発生し、秋田県内では、大館市、美郷町で震度4、秋田市で震度3を観測した。 気象庁は「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」と命名した。	
被害概要	この地震により、鹿角市で1名が軽傷を負ったほか、大館市で非住家2棟ブロック塀2箇所が壊れ、20万9千円の被害が発生した。 (秋田県消防防災年報 による)	
		(回)  震度1以上を観測した地震の日別回数グラフ (本震を含む、1994年12月28日～1995年1月31日)